



特集

瑩山けいざんぜんじ禅師ものがたり ⑥



懐装さまから得度式を受けられ
晴れて瑩山けいざんじょうきん紹瑾の名を賜りました

十三歳で正式な仏弟子に

瑩山さまが永平寺に登られてから五年の月日が経ちました。

十三歳になった瑩山さまは、師匠の義介さまの師匠の懐装さまから得度式を受けられます。これは義介さまの瑩山さまへの配慮でした。得度式では、僧名を与えられて正式に仏弟子になります。

「瑩山紹瑾」という僧名を賜りました。こうして、曹洞宗の法灯は、道元さまから懐装さま、義介さまへ、そして瑩山さまへ受け継がれて行くことになるのです。

懐装さまの看護役に

その得度式が終わるのを待っていたかのように、懐装さまが病の床に伏されてしまいました。

「なあ、瑩山。懐装さまの看護を引き受けてくれぬか？」

義介さまは瑩山さまに懐装さまの看護役を申し付けられました。瑩山さまの成長に懐装さまの感化力は欠かせないとお考えになったのです。

そんな義介さまの思いに応えるように、瑩山さまは懐装さまに一生懸命に尽くさ

No. 61
2020 Winter

山さん松しょう含がん寺
南なん臨りん寺

れました。懐装さまも、瑩山さまを孫のよう可愛いがり、機会を見つけては曹洞宗を開かれた道元さまの人となりやお言葉を話して聞かされました。

しかし、瑩山さまの介護もむなしく、その年の八月二十四日、懐装さまは八十三歳の生涯を閉じられたのです。

やがて旅立ちの時が

懐装さまの教えを胸に刻み、瑩山さまは義介さまのもとで二層殿しい修行に打ち込まれました。

永平寺には全国を行脚する雲水たちも少なからずやってきます。彼らの話を聞くうちに、瑩山さまは永平寺の外の世界にも惹かれていきました。

「私も雲水になって諸国修行の旅に出たいのですが」

十八歳になった瑩山さまは師の義介さまに許しを請います。
「それはいいところに気が付いた。まずは宝慶寺に行くがよい」

宝慶寺ほうけいじは、中国から来日した寂円じやくえんさまが創建されたお寺です。寂円さまは、如浄にょじやう禅師のもとで道元さまと一緒に学んだお方。寂円さまのもとで九十日の夏安居げあんどを修した後、京都や和歌山を行脚します。

一年後に再び宝慶寺に帰り着きますが、その話は次回といたしましょう。



托鉢修行する永平寺の僧たち

板橋興宗禅師様の思い出

今年はコロナウイルスの蔓延に

より世界中で生活が一変しました。皆様におかれましては不安な生活を送られたことと思えます。何とか明年にはワクチンや治療薬が開発され、元の日常生活を取り戻せることを心より願っております。

臨南寺 住職 大澤正道



四ページでも報じられていますが、大本山總持寺でしめやかに営まれた板橋興宗禅師様の本葬儀に参列し焼香させていただきました。全国から約三百人の関係者が最後のお別れに上山されていきました。コロナ禍での本葬儀でもあり、あの広い本山の入口を二か所に限定し、体温計測・アルコール消毒・マスクの着用と感染対策を徹底し、人数も大幅に減らして営まれました。

板橋禅師様が貫首をお勤めの時に、先代渡邊剛毅老師が監院の要職に任命され三年間お任せされました。臨南寺にも二

度お出ました。ご接化賜りました。禅師様は貫首というお立場でありながらも、修行僧と一緒に裸足で掃除をされたり、一緒に風呂に入られたり、大衆一如を実践されておられたお姿を今でも思い出します。貫首を退かれてからも、福井県武生の御誕生寺で修行僧とともに過ごされておられました。私もたびたびお伺いし親しくお話をさせていたしておりました。

禅師様の実践のお姿やお言葉を胸に、今後一僧侶として過ごして行かなければと肝に銘じております。

寺景 百景



ダライ・ラマ法王 から贈られた 釈迦如来坐像

平成二十六年(二〇一四)四月九日、臨南寺においてダライ・ラマ法王殿下の特別講演会が開催されました。本堂と本堂前には約千人の聴衆が

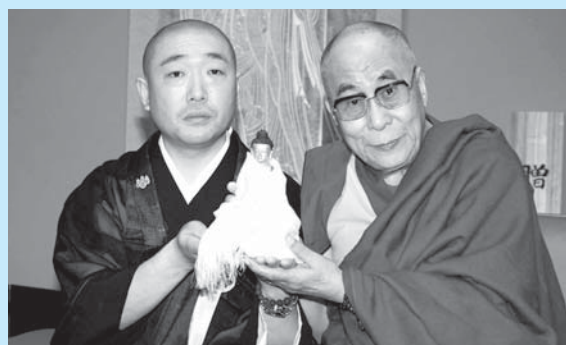
集い、熱心に法王殿下の言葉に耳を傾けました。今から六年前のことです。

そのダライ・ラマ法王殿下が臨南寺訪問の記念として贈ってくださいましたのが、この釈迦如来坐像です。赤い厨子に収まったそのお姿は金色に輝き、独特のオーラを放っています。

そのお姿を見ていると、「命あるものにはすべて仏性が備わっている」「私たちの心の本質は汚れないもの」「周りの人たちへの思いやりの心があれば私達の健康は自然に豊かになる」そんなダライ・ラマ法王殿下のお言葉がよみがえってきます。



赤い厨子に鎮座されている釈迦如来坐像



ダライ・ラマ法王殿下から大澤正道住職へ手渡されました

「水急にして月を流さず」退職のご挨拶



長峰^{ゆうし}有士

この度十二月末日をもって退職させて頂くこととなりました。

平成二十七年よりまる五年、短い間ではございましたが、お檀家様をはじめ臨南寺にかわりのある方々に感謝申し上げます。東北からこの地に赴き、供養を通じ沢山の方々と接する中で僧侶として二回りも二回りも成長できたと思います。

今年には新型コロナウイルスにより社会が一変してしまい、供養の仕方を著しく変更せざる得ない状況になっております。皆様方も不自由な生活を強いられ、ご苦労も多いと思います。

禅の言葉に「水急不流月」（水急にして月を流さず）という言葉があります。

川を流れる水はとても急で、木の葉だけでなく、木や岩までも流してしまいます。時に

は岸までも削っていく激しいものです。しかしながら、その水面に映る月は、どんな激しい流れにも流されることはありません。

水の流れをコロナ禍の現社会ととらえ、月を自分の心ととらえると、周りの常識や動向に、私の心が流されることがなく、「本来の自分」をしっかりと持つことの大事さをあらわしています。水面に映る月同様人間の心も虚像であると俯瞰的に見ることであれば、ふとした瞬間心に振り回されることなく正しい判断ができると思います。

幸か不幸か大変な災害時においても、日々学ぶことのできる有意義な大阪生活でございました。

御縁がありまして、退職後は福井県大野市の洞雲寺の後継となります。ご本山永平寺とも近く、なにかとお手伝いにあがることも多くなります。

大阪で学んだことを存分に活かし、自坊の護持発展また広くご本山に貢献できるよう邁進します。

臨南寺のご関係の皆様におかれましては大変な時節ではございますが、どうぞ日々穏やかに過ごせることをお祈りいたします。

臨南寺行持予定

コロナ禍の中のお断り

新型コロナウイルスが再び猛威を振るっており、一向に収まる気配がありません。

臨南寺の行持は、本堂の中など室内で行われるものが多く、一つひとつ開催するかどうか悩んでいるところです。マスクの着用、体温測定などの感染防止対策を取っても、人数が多くなれば、密になることは避けられそうにありません。

感染状況によっては、中止することや変更する場合もございます。

臨南寺の行持については、臨南寺のホームページでご確認いただくか、電話でお問い合わせください。

寺務所の電話 ○六・六六九八・一〇〇一
(九時～十七時)

年末年始の臨南寺

* 十二月三十一日～一月三日は、寺務所を閉めさせていただきます。

* 三が日の花の販売はございません。

* 開門は午前五時、閉門は午後九時となっております。

早朝坐禅会、写経会とも

しばらくお休みさせていただきます。
ご了承ください。

秋のマトリ合同法要

読経の中ご焼香して

いただきました

秋らしい好天に恵まれた十一月八日(日)。午後二時からがつしよう園マトリの合同法要が営まれました。

コロナ禍の中、春のマトリ合同法要は中止を余儀なくされました。秋のマトリ合同法要は、新型コロナウイルスの感染防止の観点から簡素化が図られ、法話もイベントも行わず、法要のみの実施となりました。



マトリにて読経の中ご焼香していただきました

曹洞宗元管長

板橋興宗禅師の

茶毘式禮が執り行われました

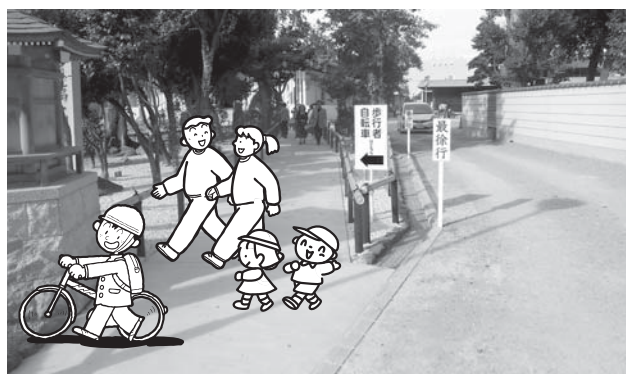
十一月九日・十日、大本山總持寺において、曹洞宗元管長板橋興宗禅師の茶毘式禮が、大本山永平寺貫首南澤道人禅師の秉炬により執り行われました。

板橋興宗禅師は今年七月五日に九十三歳でご遷化され、密葬儀は七月八日・九日に福井県越前市の御誕生寺において、近親者のみで厳粛に執り行われました。ここに「ご遷化を悼み、謹んで哀悼の意を表します。」

在りし日の板橋興宗禅師



この道は、自転車もご利用ください



この歩道は、徒歩の方や車椅子の方だけでなく、自転車の方もご利用いただけます。

数年前から当寺院の境内で人身事故が発生しています。境内での運転は最徐行でお願いします。

改善される様子が見られなければ、車両の乗り入れを禁止いたします。

なお、境内地内での事故等につきましては、当寺院では一切の責任を負いません。

編集後記

友達の奥さんから喪中ハガキが届いた。二月十九日に亡くなったという。心の底に衝撃が走った。年賀状には「今年も飲もう」とあった。コロナ禍で電話を控えていた。一月中に電話しとけばよかったという悔いも残った。酒を飲む約束果たせ秋の月(M)

ゴミはコンテナに

年末年始の墓参で出たゴミは、コンテナに入れてください。墓参でのゴミ以外は投棄しないでください。ご家庭で出たゴミはご遠慮ください。墓苑を美しく清潔に保つていただきますようご協力をお願いします。

「ほ〜っと」61号

令和2年12月

編集・発行： りょうがりん 椋伽林「ほ〜っと」

編集室

〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園1-32

TEL 06-6698-1001

FAX 06-6697-3330

Eメール：rinnanji@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.rinnanji.com